

由比ガ浜西自治会と 計画地周辺住民の皆さまへ

緊急

鎌倉市による「個人情報漏洩問題の再調査」についてのお知らせ

多くのマスコミで報道されました4月6日の調査報告会において、鎌倉市は本件について説明を行いましたが、その内容は主に「窓口での事務的ミス」に限定されたものでした。しかしながら、実際には以下の重大な問題が確認されています。

■ 確認されている問題

・住民協定の賛否が記載された地図(以下「賛否地図」)が取得され、関係4社(大和地所レジデンス株式会社、NTT都市開発株式会社、株式会社スタイルックス・アーキテクト、株式会社ティープランニング一級建築士事務所)と、区域内法人2社(不明)で共有されていたこと。

・ 事業者(大和地所レジデンス)が当該地図を用い、不賛同者宅を個別訪問していたこと

・ 訪問時において

- 自治会また個人に対する誹謗中傷的な発言

- 周辺住民の意思に関する虚偽説明 が行われていたこと

■ 本件の本質的な問題

これらの行為は、開発計画に関する個別訪問の場において、極めて不適切な情報の利用であると言えます。

そもそも、個別訪問において「賛否地図」は必要でしょうか？ → 必要ない。

また、仮に公開されていた情報であったとしても、個人情報を取り扱う企業がこれを個人情報として認識せずに、共有・活用していること自体、コンプライアンス上、重大問題。

裏へ➡

■ 鎌倉市の対応

報告会において、市は「2 週間以内に再調査を実施する」と発表。

また、昨年 6 月に開催された住民説明会は、不履行状態であったにも関わらず、市は、事業者の報告を承認し手続きを進めたことを確認すると発表。

■ 住民の皆さまへのお願い

今後、鎌倉市による調査訪問が行われる予定です。その際には、以下について、ぜひ率直にお伝えください。

◎市の調査担当者に伝えていただきたい内容

- ・ 事業者から個別説明を受けていない場合はその旨を
 - ・ 訪問を受けた方は、その際の状況（例：地図の使用有無に関わらず）
 - 不適切と感じた態度や言動
 - 説明内容に関する違和感や事実と異なる点など
 - ・ 昨年 6 月に開催された住民説明会では、計画の説明は一切なかったのに住民説明完了が承認されたのは何故か？
 - ・ 事業者は、昨年 12 月に開催した説明会で住民から出された質問に未だに答えていないこと
 - ・ 事業者の対応だけでなく、鎌倉市の手続きや対応に対するご意見……………などなど
-

■ 最後に

今回の問題は、単なる市の事務ミスではなく、個人情報目的外利用されたことが重大な問題です。 皆さま一人ひとりの声が、今後の公正な対応につながります。

何卒ご協力をお願い申し上げます。

由比ガ浜西自治会:ThinkKamakura

2026/04/13